

花新聞

はなしぶん

2022

vol. 54

北九州市建設局
公園緑地部みどり・公園整備課
〒803-8501
小倉北区城内1-1
TEL.093(582)2460

北九州市 お花

検索



世界体操・新体操を彩った花々



3人の記念撮影

国内トップクラスのデザイン力とITにも強いチーム“フラワーコネクト北九州”。左から「花工房おかだ」の岡田哲哉さん、「フローラルポート」福田智雪さん、「ナチュラルカ」の和田翔さん。

フラワーアレンジメントで お出迎え



期間中、世界体操会場（総合体育館）と世界新体操会場（西日本総合展示場新館）に競技をイメージしたフラワーアレンジメントを設置。さらに、総合体育館前にある金比羅池周辺ではライトアップを実施し、選手や来場者をお迎えしました。

軽やかに弾む躍動感や 多様性を大胆かつ可憐に

フラワーアレンジメントを担当したのは市内で花屋を営む店主3人組。圧巻だったのは、体操競技の「ジャンプ・跳躍」をイメージしたという4mにも及ぶ巨大なフラワーオブジェで、見る者を圧倒する迫力でした。代表して、デザイナーを担当した岡田哲哉さんにお話を伺いました。

どんな想いでこの案を？

世界各国の多種多様性を、新体操も連想できる、5色のボール状のアレンジメントで表現しました。北九州市の魅力 forcefully 発信したいという目的もあったので、出来るだけ産地は北九州にこだわり、40種類以上の花で構成しています。市の花、ひまわり、はど

うしても使いたかったのですが、早々に合馬の生産者 林さんに依頼して、開花を間に合わせてもらったりもしました。

苦勞も多かったのでは？

これほど大がかりなオブジェはあまりないので制作はかなり大変でしたが、大学で建築を専攻し構造力学を学んでいたことが、ここにきて役立ちました。準備中から注目の的で、子どもさんに「自分で挿していいよ」と一本渡すと、すごく喜んで挿してくれて、そんな過程も楽しみました。

反響はとても凄かったです。連日、喜んで撮影される方が多くて、うれしかったです。

3人組のメリットは？

それぞれが得意な分野で力を発揮して、仕入れ先も広がりました。10日間近く炎天下にさらされる生花には苛酷な状況でしたが、メンテナンスマもローテーションを組んで乗り切りました。実は3人で技術や情報、知識を共有し、北九州を花で盛り上げる活動したいとチームを組んだところでした。願ってもない第一歩になりました。



そのほか会場周辺の応援

ボランティアによる花植え活動



市が維持管理する道路・公園において、清掃活動や景観美化活動などを行う「道路サポーター」等のボランティアのみなさんが、おもてなしの機運を高めるために会場周辺や練習会場周辺の花苗活動を行い、大会を応援しました。

浅生 スポーツセンター



さやふく環境サポーター
戸畑昭和通り振興会
浅生まちづくり協議会



まぶしい日射しが降り注ぐ10月とは思えない暑さの中で、選手たちの練習会場となる戸畑区の浅生スポーツセンター前にある2つの花壇に、円型花壇の特性を生かせるようにレイアウトされた配置図に沿って、手際よく花を植えていただきました。
・今回印象に残ったことは何ですか？
花植えの位置決めに紐を張って、割り箸で植える場所に刺して位置を示していたのが印象に残りました。
・今後の参考になったことはありますか？
今までは、自分たちで適当な間隔で植えることが多く、植え方のセンスが問われていましたが、これからは、他のサポーターの花壇を見て植え方のセンスを磨いていきたいと思っています。

(さやふく環境サポーター/会長 佐々木 恵一 郎さん)

穴生 ドーム



みちピカ穴生
花ボラ園芸クラブ
(穴生学舎ボランティアグループ)
健福会
花咲く街づくり穴生



NPO法人環境ネットワークの指導のもと、練習会場となる穴生ドーム前と穴生学舎前の花壇に、チームワークを活かした花植え作業を行い、練習に訪れる選手のココロを癒す花壇が完成し、選手の皆さんを迎える準備を整えていただきました。
・今回感じたことは何ですか？
入り口付近を華やかな雰囲気包んでくれる花壇作りで、世界体操・新体操開催に貢献できたことを非常に嬉しく思います。
・花新聞読者へ伝えたい事はありますか？
花があるところよっぴりホンワカし、心にゆとりもできます。近くの公園、住まいの周辺、庭先、事務所の前など、出来ることをできる範囲で、みんなが頑張りすぎず、花植えを行っていきましよう。

(みちピカ穴生/会長 藤元 武彦さん)

小倉駅新幹線口 ペDESTリアン デッキ



門司港レトロ花の会
木町本町町内会
みずほふれあい花壇



世界新体操の会場である西日本総合展示場新館の入り口近く小倉駅新幹線口ペDESTリアンデッキの両サイドに設置されたフラワーポットに、「美しい花を見て笑顔になってほしい」という思いを込めながら、手際よく花を植えていただきました。
・今回感じたことは何ですか？
花は心を癒し元気や勇気を与えてくれますので、今回のおもてなしの花植え活動に参加して良かったと思っています。
・今回印象に残ったことはありますか？
11月30日、A1Mで「みちづくし in 2021」が開催され、九州全県から参加者が集まりましたが、世界体操・新体操の時に植えた花がまだ咲き誇っていて、その花に今度は私たちが勇気もらいました。

(NPO法人門司港レトロ花の会/会長 北里 幸良さん)



受賞者発表



第11回 北九州市

ひまわりBIGりコンテスト in school

第11回「ひまわりBIGりコンテスト in school」開催にあたり、たくさんのご応募ありがとうございました。

1位
花BIGり部門

門司区
小森江東小学校




花の大きさ
45.0cm

1位
背丈BIGり部門

小倉北区
今町小学校



背丈の大きさ
471cm




花の大きさ
35.0cm

2位
花BIGり部門

小倉北区
寿山小学校



背丈の大きさ
395cm

2位
背丈BIGり部門

若松区
石峯中学校



